中間評価（ステージゲート審査）結果

1.　研究課題名：　究極的光励起テラヘルツ光源による安心・安全社会の実現

2.　研究代表者：　村手　宏輔（名古屋大学　大学院 工学研究科　助教）

3.　中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、テラヘルツ波の応用や社会実装を目指した研究に取り組んでいる。フェーズ１では、多波長テラヘルツ波の面発光によるリアルタイム分光が可能になるなど、世界に冠たる学術的な成果を上げており、基盤技術を着実に確立した点で高く評価できる。フェーズ２では、フェーズ１で得られた成果を、基礎研究だけにとどまらず、企業との共同研究などを軸として、テラヘルツ波の応用や実用化の加速という観点で、研究戦略を再考していただきたい。また、破壊的イノベーションを起こすために、課題であるシステムサイズが非常に大きい点についても是非ブレークスルーすることに大きく期待する。

以上